

〈免疫沈降に使用するFG beads®〉

■Linker beads、COOH beads、NHS beads

官能基を利用して抗体とビーズを固定化します。抗体を直接共有結合で固定化させるため、抗体の溶出が少なく、またリガンドタンパク質由来の非特異的な吸着も抑えられます。

■Streptavidin beads、NeutrAvidin™ beads

ビオチン化した抗体を固定化します。直接法、間接法のどちらにも使用できます。

■Protein A beads、Protein G beads

タンパク質間相互作用を利用して固定化します。直接法、間接法どちらも実施できます。また、少ない実験操作で簡便に行える点に加え、固定化は抗体のFc部位により行なわれるため、抗原認識部位が常に外側に向いた状態での固定化が可能です。

